



平成25年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成25年2月7日

上場会社名 株式会社 ファルコSDホールディングス 上場取引所 東・大
 コード番号 4671 URL <http://www.falco-sd.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 平崎 健治郎
 問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役戦略業務室長 (氏名) 安田 忠史 (TEL) 075 (257) 8585
 四半期報告書提出予定日 平成25年2月12日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無： 無
 四半期決算説明会開催の有無： 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第3四半期の連結業績（平成24年4月1日～平成24年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第3四半期	46,307	△0.2	1,669	△15.8	1,650	△15.9	838	42.5
24年3月期第3四半期	46,411	7.0	1,984	32.4	1,960	36.9	588	△15.9

(注) 包括利益 25年3月期第3四半期 945百万円 (88.7%) 24年3月期第3四半期 501百万円 (△23.9%)

	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益	
	円	銭	円	銭
25年3月期第3四半期	68	45	—	—
24年3月期第3四半期	46	60	—	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第3四半期	36,358	37.5	13,650	37.5	—	—
24年3月期	36,172	36.3	13,143	36.3	—	—

(参考) 自己資本 25年3月期第3四半期 13,650百万円 24年3月期 13,143百万円

2. 配当の状況

	年間配当金									
	第1四半期末		第2四半期末		第3四半期末		期末		合計	
	円	銭	円	銭	円	銭	円	銭	円	銭
24年3月期	—	—	11	00	—	—	11	00	22	00
25年3月期	—	—	13	00	—	—	—	—	—	—
25年3月期（予想）	—	—	—	—	—	—	11	00	24	00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無
 平成25年3月期第2四半期末配当金の内訳 普通配当11円00銭 記念配当2円00銭

3. 平成25年3月期の連結業績予想（平成24年4月1日～平成25年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
通期	62,000	1.9	2,200	1.5	2,100	0.6	1,000	46.0	80	83

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更： 有

② ①以外の会計方針の変更： 無

③ 会計上の見積りの変更： 有

④ 修正再表示： 無

(注) 「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」第10条の5に該当するものであります。詳細は、添付資料P. 3「2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

25年3月期3Q	12,980,177株	24年3月期	12,980,177株
25年3月期3Q	757,734株	24年3月期	607,764株
25年3月期3Q	12,256,268株	24年3月期3Q	12,636,447株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数（四半期累計）

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 継続企業の前提に関する注記	9
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	9
(6) セグメント情報等	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災からの復興を背景に国内景気は緩やかな回復の兆しが見られるものの、欧州の金融不安等を背景とした世界経済の減速や長期化する円高の影響から、依然として先行き不透明な状況で推移しております。

当社グループを取り巻く受託臨床検査市場及び調剤薬局市場におきましては、診療報酬及び調剤報酬の改定や薬価改定の影響に加え、同業社間の競争が激化しており、厳しい市場環境が続いております。また、ドラッグストア市場におきましては、個人消費は回復基調にあるものの、消費者の低価格志向や節約志向は依然として根強く、同業社間の出店競争や価格競争もより一層厳しい状況となっております。

当社グループでは、このような経営環境のもと、グループ内の事業再編を進め、コスト構造の見直しを図るとともに、各事業において収益力の向上に取り組んでおります。

このような状況のもと、当第3四半期連結累計期間の売上高は46,307百万円（前年同期比0.2%減）、営業利益は1,669百万円（同15.8%減）、経常利益は1,650百万円（同15.9%減）、四半期純利益は838百万円（同42.5%増）となりました。

セグメント別の業績は、次のとおりであります。

① 臨床検査事業

臨床検査事業につきましては、検査項目の拡販及び新規顧客の獲得に努めるとともに、医療情報システムの販売強化などにより周辺事業の売上の拡大を図り、収益力の向上に取り組んでまいりました。

このような取り組みの結果、臨床検査の受託検体数の増加や医療情報システムの売上の増加により、臨床検査事業の売上高は21,887百万円（前年同期比1.4%増）、営業利益は1,157百万円（同3.8%増）となりました。

② 調剤薬局事業

調剤薬局事業につきましては、当第3四半期連結累計期間において、関西を中心として西日本エリアに調剤薬局を展開する㈱ファルコクリニカルプランとその持株会社である㈱ファルコファーマシーズを統合し、調剤薬局事業の経営資源の一体化と業務効率化を推進するとともに、既存店の来客者を増やす取り組みを行ってまいりました。

また、当第3四半期連結累計期間において、5店舗を開局、4店舗を閉局したことにより、当四半期連結会計期間末における当社グループが運営する調剤薬局等店舗総数は117店舗（フランチャイズ店6店舗、ドラッグストア併設店13店舗含む）となりました。

このような取り組みの結果、処方箋枚数の増加により調剤薬局事業の売上高は13,172百万円（前年同期比2.1%増）となりましたが、薬価及び調剤報酬の改定の影響により営業利益は487百万円（同44.1%減）となりました。

③ ドラッグ事業

ドラッグ事業につきましては、引き続き、売場再編成・品揃えの見直しとともに、店舗関連経費の削減、店舗別の収益管理の徹底などコスト構造の見直しに取り組み、収益力及び競争力の向上に努めております。

しかしながら、既存店の来客数の減少などにより、ドラッグ事業の売上高は11,255百万円（前年同期比6.0%減）、営業利益は72百万円（同142.2%増）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

(資産、負債及び純資産の状況)

当第3四半期連結会計期間末の財政状態につきましては、総資産は、有形固定資産や売上債権が減少したものの、一方で現金及び預金やたな卸資産が増加したことにより、前連結会計年度末に比べ185百万円増加し、36,358百万円となりました。

負債は、主に借入金の減少により、前連結会計年度末と比べ321百万円減少し、22,707百万円となりました。

純資産は、四半期純利益の計上により利益剰余金が増加したことにより、前連結会計年度末に比べ507百万円増加し、13,650百万円となりました。

(キャッシュ・フローの状況)

当第3四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ859百万円増加し、6,275百万円となりました。

営業活動の結果得られた資金は3,301百万円（前年同四半期は2,309百万円）となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益1,589百万円、減価償却費1,166百万円、仕入債務の増加額1,109百万円及び法人税等の支払額1,072百万円によるものであります。

投資活動の結果使用した資金は724百万円（前年同四半期は988百万円）となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出459百万円及び投資有価証券の取得による支出342百万円によるものであります。

財務活動の結果使用した資金は1,717百万円（前年同四半期は1,807百万円）となりました。これは主に、短期借入金の純減少額300百万円及び長期借入金の純減少額693百万円によるものであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成25年3月期の連結業績予想につきましては、平成24年5月11日の「平成24年3月期 決算短信」で公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)

当社及び一部の連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

これによる損益に与える影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,496	6,327
受取手形及び売掛金	6,499	5,754
商品及び製品	2,628	3,164
仕掛品	217	87
原材料及び貯蔵品	390	405
その他	1,104	1,229
貸倒引当金	△71	△69
流動資産合計	16,266	16,899
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	10,885	11,216
減価償却累計額	△5,463	△5,992
建物及び構築物(純額)	5,422	5,223
土地	4,698	4,688
リース資産	2,887	2,814
減価償却累計額	△1,653	△1,819
リース資産(純額)	1,234	994
建設仮勘定	279	346
その他	8,278	8,247
減価償却累計額	△7,138	△7,341
その他(純額)	1,140	906
有形固定資産合計	12,774	12,160
無形固定資産		
のれん	1,097	977
その他	411	329
無形固定資産合計	1,509	1,307
投資その他の資産		
その他	5,699	6,063
貸倒引当金	△78	△73
投資その他の資産合計	5,621	5,990
固定資産合計	19,905	19,458
資産合計	36,172	36,358

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	6,784	7,837
短期借入金	3,450	3,150
未払法人税等	600	314
引当金	687	350
その他	4,026	3,639
流動負債合計	15,548	15,291
固定負債		
長期借入金	3,817	3,799
退職給付引当金	1,513	1,559
役員退職慰労引当金	1,005	1,028
資産除去債務	215	220
その他	928	807
固定負債合計	7,480	7,415
負債合計	23,029	22,707
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,371	3,371
資本剰余金	4,037	4,037
利益剰余金	6,298	6,842
自己株式	△503	△647
株主資本合計	13,203	13,604
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△60	46
その他の包括利益累計額合計	△60	46
純資産合計	13,143	13,650
負債純資産合計	36,172	36,358

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)
売上高	46,411	46,307
売上原価	33,273	33,628
売上総利益	13,137	12,679
販売費及び一般管理費	11,152	11,009
営業利益	1,984	1,669
営業外収益		
受取配当金	47	58
その他	121	92
営業外収益合計	169	151
営業外費用		
支払利息	99	89
支払手数料	45	54
その他	47	27
営業外費用合計	192	171
経常利益	1,960	1,650
特別利益		
負ののれん発生益	96	—
営業権譲渡益	—	10
その他	3	0
特別利益合計	99	11
特別損失		
投資有価証券評価損	167	2
退職給付費用	12	—
減損損失	105	27
店舗閉鎖損失	—	33
その他	70	8
特別損失合計	356	72
税金等調整前四半期純利益	1,704	1,589
法人税、住民税及び事業税	1,004	798
法人税等調整額	111	△48
法人税等合計	1,116	750
少数株主損益調整前四半期純利益	588	838
四半期純利益	588	838

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	588	838
その他の包括利益		
其他有価証券評価差額金	△87	106
その他の包括利益合計	△87	106
四半期包括利益	501	945
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	501	945
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	1,704	1,589
減価償却費	1,383	1,166
減損損失	105	27
のれん償却額	131	119
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△38	△6
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	65	69
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△380	△336
受取利息及び受取配当金	△58	△67
支払利息	99	89
投資有価証券評価損益 (△は益)	167	2
負ののれん発生益	△96	—
売上債権の増減額 (△は増加)	△42	709
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△448	△420
仕入債務の増減額 (△は減少)	1,121	1,109
その他	△65	333
小計	3,648	4,385
利息及び配当金の受取額	56	64
利息の支払額	△76	△75
法人税等の支払額	△1,319	△1,072
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,309	3,301
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△1,097	△459
無形固定資産の取得による支出	△73	△60
投資有価証券の取得による支出	△358	△342
保険積立金の解約による収入	256	—
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による収入	55	—
その他	228	138
投資活動によるキャッシュ・フロー	△988	△724
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△330	△300
長期借入れによる収入	1,000	1,050
長期借入金の返済による支出	△1,407	△1,743
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△488	△288
配当金の支払額	△290	△291
自己株式の取得による支出	△290	△143
その他	—	0
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,807	△1,717
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△486	859
現金及び現金同等物の期首残高	5,395	5,416
現金及び現金同等物の四半期末残高	4,909	6,275

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(6) セグメント情報等

(セグメント情報等)

I 前第3四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	臨床検査 事業	調剤薬局 事業	ドラッグ 事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	21,577	12,858	11,975	46,411	—	46,411
セグメント間の内部売上高 又は振替高	1	45	—	47	△47	—
計	21,579	12,903	11,975	46,458	△47	46,411
セグメント利益	1,114	871	30	2,016	△32	1,984

(注) 1. セグメント利益の調整額△32百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△957百万円及び内部取引の消去に伴う調整額925百万円が含まれております。全社費用は、主に人事・経理部門等の管理費用及び建物の減価償却費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「ドラッグ事業」において減損損失を計上しております。当該減損損失の計上額は、当第3四半期連結累計期間において105百万円であります。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	臨床検査 事業	調剤薬局 事業	ドラッグ 事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	21,881	13,171	11,255	46,307	—	46,307
セグメント間の内部売上高 又は振替高	6	1	0	8	△8	—
計	21,887	13,172	11,255	46,315	△8	46,307
セグメント利益	1,157	487	72	1,717	△47	1,669

(注) 1. セグメント利益の調整額△47百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△1,010百万円及び内部取引の消去に伴う調整額962百万円が含まれております。全社費用は、主に人事・経理部門等の管理費用及び建物の減価償却費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

(営業費用の配分方法の変更)

各報告セグメントの営業費用の負担を明確化し、業績管理をより適切に行うため、第1四半期連結会計期間より、ドラッグストア(調剤薬局併設店)の営業費用の配分方法を変更しております。

この変更に伴い、従来の方法によった場合に比べ、当第3四半期連結累計期間の「調剤薬局事業」のセグメント利益が45百万円減少し、「ドラッグ事業」のセグメント利益が45百万円増加しております。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「調剤薬局事業」において減損損失を計上しております。当該減損損失の計上額は、当第3四半期連結累計期間において27百万円であります。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。